



2022年9月8日

各 位

会社名 セグエグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 愛須 康之
(コード番号：3968 東証プライム)
問合せ先 取締役経営管理部長 福田 泰福
(TEL. 03-6228-3822)

セグエグループのジェイズ・コミュニケーション、
メールセキュリティソリューション「Vade for M365」の取扱いを開始

セグエグループ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：愛須 康之）の中核子会社であるジェイズ・コミュニケーション株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：愛須 康之）は、Vade Secure（本社：フランス共和国リール、CEO：Georges Lotigier）と販売代理店契約を締結し、Microsoft 社が提供する API を利用した、シンプルな運用で多層防御を実現するクラウドベースのメールセキュリティソリューション「Vade for M365」の取扱いを9月より開始いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以 上

シンプルな運用で多層防御を実現するサブスクリプション型メールセキュリティ「Vade for M365」の取扱いを開始

ジェイズ・コミュニケーション株式会社(以下 ジェイズ・コミュニケーション、東京本社:東京都中央区新川、代表取締役社長:愛須 康之)は、Vade Secure(以下 Vade、仏国リール、CEO:Georges Lotigier)と販売代理店契約を締結し、「Vade for M365」の取扱いを開始します。

昨年末から再び猛威を振るっている Emotet(エモテット)をはじめ、標的型、フィッシングやランサムウェアなどサイバー攻撃の 90%以上がメールを起点にしていると言われていています。特に、Microsoft 365 は約 2.6 億人という多くの企業ユーザーに世界中で利用され、メールのみならず OneDrive や SharePoint も侵害可能なシングルエントリーポイントとして狙われるため、フィッシング攻撃の最大のターゲットとされています。しかし、Microsoft 365 メール標準のセキュリティ機能では、未知の脅威や亜種のマルウェアへの対策が不十分であると言われていています。

Vade for M365 は、Microsoft 社が提供する API を利用したクラウドベースのサブスクリプション型ソリューションです。AI を活用した機能を API 連携することで Microsoft 365 と一体化した多層防御を実現します。メールサーバー環境にインストールする必要がないので、慣れ親しんだユーザー体験を一切損なわずにメールセキュリティを強化することが可能です。

ジェイズ・コミュニケーションは、セキュリティソリューションのラインナップに Vade for M365 が加わることにより、メールセキュリティ対策の強化をご提案するとともに、昨今高まるセキュリティソリューションのサブスクリプション型サービスのニーズに対応していきます。

■Vade for M365 の特長

1) 高い検知率

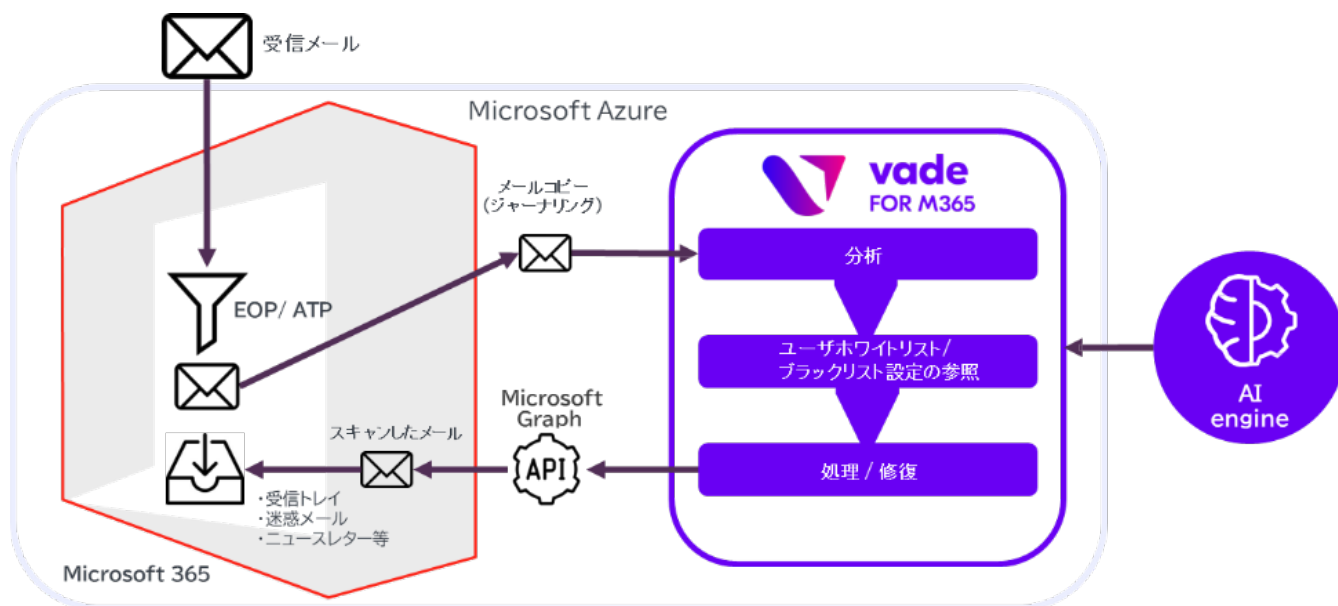
17 の特許を取得した AI、24 時間体制の Vade エンジニアによるタイムリーなフィルタ更新、行動アルゴリズムによって分析されたパターンを利用し、Microsoft 365 メール標準のセキュリティ機能 EOP(Exchange Online Protection)をすり抜ける未知の脅威も確実に検知します。

2) 簡単導入でシンプルな運用管理

導入構築工事が不要なので簡単に導入できます。「Emotet」、「COVID-19」など話題のキーワードを利用してメールログを高速検索し、API を利用して受信トレイの操作をすることも可能です。

3) 国内大手キャリアでも採用されている豊富な導入実績

全世界で 5000 社以上の様々な業種で導入実績があり、計 10 億個以上のメールボックスを保護しています。国内大手キャリア 3 社でも採用され、市場での高い評価を得ています。



Vade for M365 のシステム構成

また本リリースにあたり、Vade の日本法人、Vade Japan 株式会社 カントリーマネージャー 伊藤 利昭様より以下のエンドースメントを頂戴しています。

「サイバー攻撃の 90%以上がメールをきっかけとしていることと、Microsoft がフィッシング攻撃の最大のターゲットとなっていることから、そのセキュリティ対策の強化がいかに重要かということがわかります。例えば最近日本で爆発的な再流行が確認されたメールを起因とするマルウェアの Emotet では、業界や企業規模問わずターゲットとなっており、Vade のお客様でも数多く着弾していることが確認されています。中小企業から大手企業まで幅広い販売網を持つジェイズ・コミュニケーションを通じて、より多くの Microsoft 365 を利用する企業のメールセキュリティ強化を支援できることを、大変嬉しく思います。」

■Vade for M365 Web ページ

<https://jscom.jp/vade/>

Vade について

AI(人工知能)を用いた脅威検出とその対応技術の開発に特化したグローバルなサイバーセキュリティ企業です。サイバーセキュリティの向上とIT 効率の最大化をサポートする評価の高い製品とソリューションを、ISP、MSP および企業に提供しています。Vade の製品とソリューションは、マルウェア、ランサムウェア、スパイフィッシング、ビジネスメール詐欺、フィッシングなどのメールを介したサイバー攻撃から消費者、企業、組織を保護します。2009 年に設立され、現在 10 億個以上のメールボックスを保護しています。2016 年には、日本法人の Vade Secure 株式会社(現 Vade Japan 株式会社)を東京都・港区に立ち上げ、日本市場に本格参入しました。

ジェイズ・コミュニケーションについて

ネットワークセキュリティ、ネットワークインフラ技術に特化したセグエグループ株式会社の中核企業です。ネットワークセキュリティに係るディストリビューション事業、インテグレーション事業、サービス事業を展開しています。

【Vade for M365 に関するお問い合わせ先】

ジェイズ・コミュニケーション株式会社

マーケティング戦略本部 Vade 担当

Mail : vade_pr@jscom.co.jp

※本資料に掲載されている会社名および商品またはサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。